

審査基準日以前に6ヶ月を超える恒常的雇用関係がある技術者について記入してください。

許可番号 02-099999

青森建設

様式第4号

技術者とは、監理技術者になる資格を有する者、主任技術者になる資格を有する者、1級技士補又は2級技士補です。
この様式には、技術者のうち、技術職員名簿に掲載されていない者について記載します。

(用紙A4)
月 日

CPD単位を取得した技術者名簿
(技術職員名簿に記載のある者を除く)

年齢が若い順に整理する

通番	氏名	生年月日	CPD単位
1	東青 一平	H5.6.1	30
2	西北 四平	S62.5.7	30
3	上北 五平	S59.11.21	20

認定団体	数値
公益社団法人空気調和・衛生工学会	50
一般財団法人建設業振興基金	12
一般社団法人建設コンサルタンツ協会	50
一般社団法人交通工学研究会	50
公益社団法人地盤工学会	50
公益社団法人森林・自然環境技術教育研究センター	20
公益社団法人全国上下水道コンサルタント協会	50
一般社団法人全国測量設計業協会連合会	20
一般社団法人全国土木施工管理技士会連合会	20
一般社団法人全日本建設技術協会	25
土質・地質技術者生涯学習協議会	50
公益社団法人土木学会	50
一般社団法人日本環境アセスメント協会	50
公益社団法人日本技術士会	50
公益社団法人日本建築士会連合会	12
公益社団法人日本造園学会	50
公益社団法人日本都市計画学会	50
公益社団法人農業農村工学会	50
一般社団法人日本建築士事務所協会連合会	12
公益社団法人日本建築家協会	12
一般社団法人日本建設業連合会	12
一般社団法人日本建築学会	12
一般社団法人建築設備技術者協会	12
一般社団法人電気設備学会	12
一般社団法人日本設備設計事務所協会連合会	12
公益財団法人建築技術教育普及センター	12
一般社団法人日本建築構造技術者協会	12

技術者が審査基準日以前1年間にCPD認定団体から認定されたCPD単位を、CPD認定団体ごとに左表で掲げる数値で除し、30を乗じた数値を記入します。

※「CPD単位取得数算定表」の「CPD単位(換算後)」の数字を記載してください。
※小数点以下は、切り捨てます。
※技術者1人当たりのCPD単位取得数の上限は、30単位です。
※CPD単位取得実績がない場合は、0を記入してください。

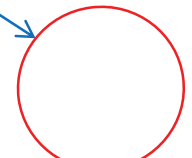
技術職員名簿の「CPD単位取得数」の合計を記入します。

CPD単位合計(②)	80	50	130
------------	----	----	-----

技術者のうち、第1項番6「CPD単位取得数」と一致します。

若しくは二級の第一次検定に合格した者であつて、規則
こと。
定され
記載

経審申請時に(公財)青森県建設技術センターの印が無い場合は受付できません。



技術職員名簿

単位数の算出方法等は、「CPD単位」と同様です。

通番	新規掲載者	氏名	生年月日	審査基準日現在の満年齢	業種コード	有資格区分コード	講習受講	業種コード	有資格区分コード	講習受講	監理技術者資格者証交付番号	CPD単位取得数
1				8	2							